

輝北

元Jリーガーがサッカー教室を開催



7月9日、平南小学校で、Jリーグ・元横浜フリューゲルスの前田治さんによるサッカー教室が行われました。この教室は、文部科学省と日本体育協会による「子どもの体力向上キャンペーントップアスリート派遣指導事業」として行われたもので、当日は、平南小の全校児童19人が参加。

体育館での講話では、前田さんが夢に向かって努力することの大切さを話したあと、子どもたちは様々な質問をしていました。また、その後は、校庭でサッカー教室を行い、子どもたちは元プロ選手の技術に歓声をあげながら、楽しそうにボールを追いかけていました。



串良川クリーンキャンペーン川下り大会を開催



7月6日、串良川で「第23回串良川クリーンキャンペーン川下り大会」が開催されました。この大会は、川下り通じて河川愛護に対する意識を高めることを目的に開催しているもので、8チーム総勢75人が参加。手づくりのイカダに乗り、チーム全員で力を合わせてゴールを目指しました。優勝＝上小原バレーボールスポーツ少年団女子チーム

吾平 たわわに実ったぶどうを収穫



8月4日から吾平町の黒羽子観光農園で「ぶどう狩り」が始まりました。同園のぶどうは、糖度が高く酸味が少ないのが特徴です。今年は、例年に比べて雨が少なかったため、さらに糖度が高くなっています。当日行われた開園式には、吾平保育園の園児など約20人が参加。自らぶどうを収穫し、「甘くておいしい」と口の中いっぱいほおぼっていました。

鹿屋

市民協働まちづくりシンポジウムを開催



7月6日、リナシティかのやで「市民協働まちづくりシンポジウム～市民が主役これからのかのや」が開催され、約300人が来場しました。第1部では元キャスターで奄美パーク園長の宮崎緑さんを講師に迎え、「まちも人も輝いて！」と題し、歴史的偉人を例にリーダーシップのあり方や海外のまちづくりの事例などについての講演が行われました。また、第2部では「私が考える協働地域社会づくり」をテーマに、市内でボランティア活動などを行っている6人のパネラーによるパネルディスカッションが行われ、それぞれの活動を通して得たことの中から、これからのまちづくりのためにできることを、来場者と一緒になって考えました。

鹿屋

柔道で小・中・高の全国大会へ出場



7月25日、柔道の全国大会に出場する小中高校生4人が、市役所を表敬訪問しました。訪れたのは、寿小の内村光暉くん、鹿屋東中の上林山裕馬さんと吉村静織さん、鹿屋高の安達莉穂さんで、それぞれ全国小学生大会、全国中学校体育大会、全国高校総体に出場します。山下市長に激励された4人は、それぞれの大会での健闘を誓っていました。

鹿屋

ハンセン病問題基本法を考える



7月26日、星塚敬愛園で「ハンセン病問題基本法とハンセン病市民学会講演会」が開催されました。これは、ハンセン病問題基本法の成立に至った経緯や目的などを周知するために開催されたもので、約140人が参加。当日は、講師に小林弁護士と徳田弁護士を迎え、ハンセン病問題基本法などについての講演があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

鹿屋

星塚敬愛園の夏祭りで入所者と地域住民が交流



7月30日、星塚敬愛園で「第31回夏祭り納涼大会」が開催され、入所者と地域住民が交流を深めました。祭りでは、職員などによる踊りや歌が披露されたほか、歌手の伍代夏子さんの歌謡ショーも開催。また、最後は花火が打ち上げられ、会場では、入所者と地域住民など3,000人以上が年に1度の祭りを楽しみました。

鹿屋

リナシティかのや」でソフトバレー大会を開催



7月6日、リナシティかのやフィットネスホールで「第2回リナシティカップソフトバレーオープン大会トリムの一部」が開催されました。当日は、22チーム144人が参加し、真剣な眼差しで熱戦を繰り広げていました。結果は次のとおり。優勝＝ガトゥーン 準優勝＝鹿屋コスモス 3位＝つばさ・パイレーツ

鹿屋

日替わりオーナーの店「まちなかキッチン」がオープン



7月6日、鹿屋本町一番商店街に空き店舗を利用した「日替わりオーナーの店「まちなかキッチン」」がオープンしました。この店は、地域の特色ある料理や趣味を活かした加工食品などを日替りのオーナーが提供するお店で、商店街の活性化や、空き店舗対策に役立つものと期待されています。オープン初日は、鹿屋市漁業協同組合がオーナーとなり、新鮮な魚介類の販売や特産のカンパチの解体ショーを実施。市価よりも安くで提供された商品を買って求めようと、多くの人が訪れていました。※「まちなかキッチン」では、出店者を随時募集しています。プロ・アマは問いません。詳しくは本町一番商店街振興組合 ☎0994-43-4374 までお問い合わせください。